

一般社団法人 協力隊を育てる会

## 第 48 回通常総会

### 【報告書】

- 1) 2022 年度事業報告
- 2) 2023 年度事業計画
- 3) 2023 年度収支予算

### 【議案書】

第 1 号議案：2022 年度決算承認の件

2023 年 5 月 26 日（金） 於 日本青年館





# 目 次

## 【報告書】

2022 年度事業報告	P5
2023 年度事業計画	P23
2023 年度収支予算	P34

## 【議案書】

第 1 号議案：2022 年度決算承認の件	P35
監事監査報告書	P41

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、順不同、敬称略にて表記しています。

注 2：本冊子記載の青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊情報（帰国隊員を含む）は、氏名に次いで【隊次（西暦●年度●次隊）／派遣国／職種】の順で表記しています。

注 3：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊を【協力隊】と表記、全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部省略または俗称にて表記しています。

一般社団法人協力隊を育てる会役員

2022-2023 年度

役員

理事	会長	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
理事	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館理事
理事	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
理事	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
理事	常任理事	上田 みどり	広島県青年海外協力隊を育てる会会長
理事		明石 要一	千葉大学名誉教授、NPO 法人生涯学習応援団ちば理事長
理事		小井土 雄一	厚生労働省 DMAT 事務局長
理事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
理事		白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
理事		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
理事		田口 努	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
理事		棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
理事		土井 章	国際航業株式会社経営管理本部
理事		山根木晴久	日本労働組合総連合会副事務局長
監事		中村 義人	公認会計士
監事		福瀧 健一	千葉県 JICA 協力隊を育てる会監事

顧問・参与

顧問		足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
顧問		黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
参与		伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参与		井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
参与		大塚 正明	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参与		大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
参与		小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
参与		小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
参与		坂本 瑞夫	愛知県青年海外協力隊を支援する会会長
参与		高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
参与		谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
参与		吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
参与		森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長
参与		竹原 玲児	日本経済団体連合会国際協力本部長

**2022 年度事業報告**  
**2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで**

## 2022 年度事業方針

### 【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

### 【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に活かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

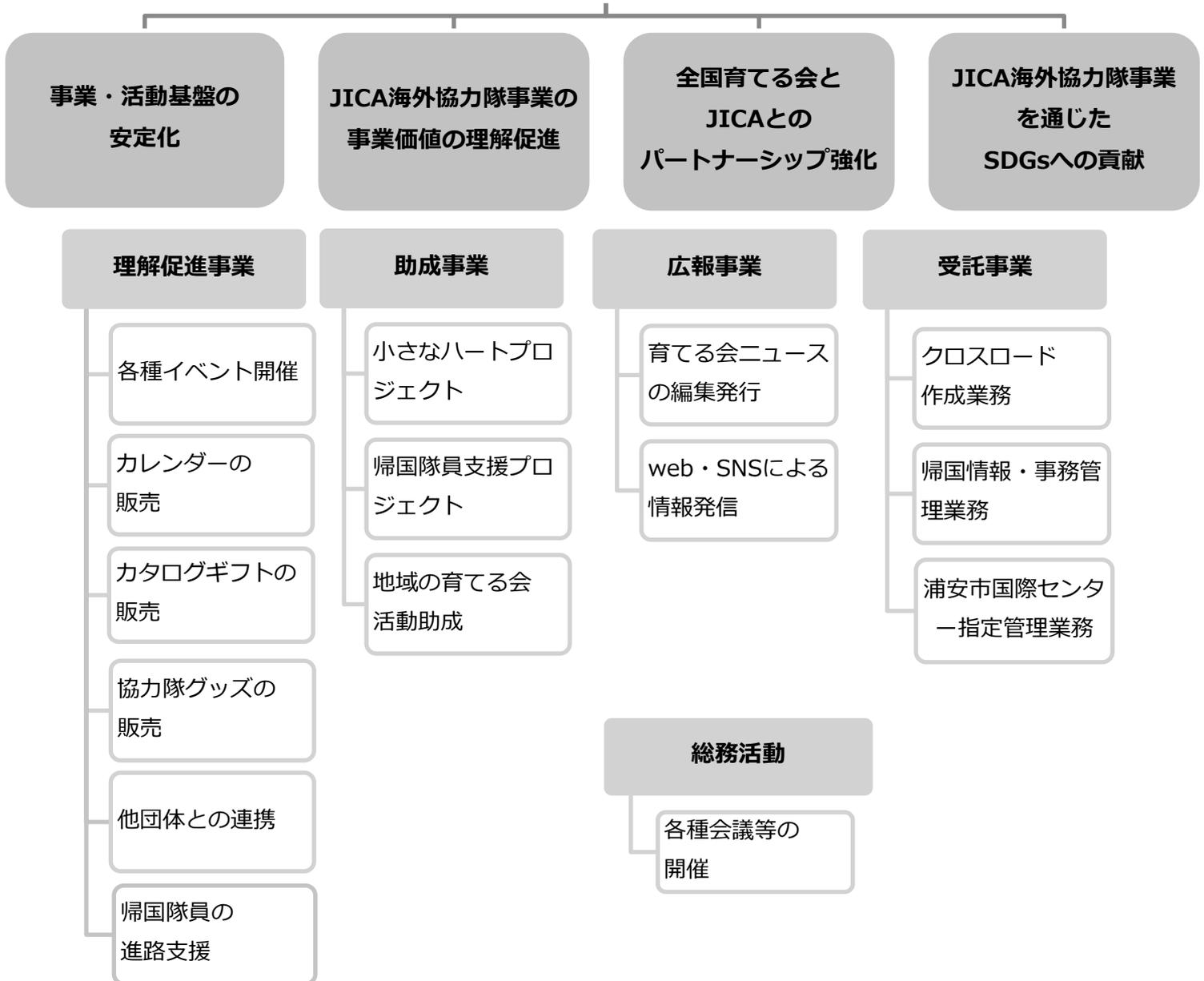
### 【重点活動】

1. 事業・活動基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊事業を通じた「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）への貢献

## 協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

## 重点活動



# 2022 年度事業報告

## 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

### 【重点事業】

#### 1. 事業・活動基盤の安定化

---

##### 1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

###### (1) 受託業務

###### ①2021-2024 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

現 況：10 月より編集部の常勤職員 3 名体制が確立

課 題：より充実した取材対象者及び情報源の確保

###### ②2021-2023 年度 JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務

現 況：Web サイト「サポーター宣言」記事作成を 48 件実施

課 題：JICA 出向組をはじめとする業務担当者の安定的な確保

次期契約に向けた企画提案及び実施体制の立案準備

###### (2) 自主事業

現 況：社会経済活動回復に伴う事業参画機会の増

課 題：事務局職員の安定的な確保

##### 2) 全国育てる会活動予算の確保

現 況：JICA 社会還元促進費の制度運用には至っておらず

課 題：上記制度の運用開始の働きかけ又は別制度の企画提案

#### 2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進

---

##### 1) 全国ネットワークによる協力隊活動ならびに社会還元活動への支援

###### (1) 自主事業

現 況：育てる会ニュースの「日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会」連載が 50 回に到達

##### 2) 次世代育成を目的とした青少年団体等との事業連携の実現

###### (1) 全国 OV 教員・教育研究会との事業連携（広報協力）

実施名：第 6 回全国 OV 教員・教育研究会シンポジウム

「協力隊を日本の文化にする」～途上国経験を通して得られる力の使い方～

日 時：12 月 25 日（日）13：00～16：50

場 所：オンライン

概 要：実践発表、座談会、ワークショップ

##### 3) 企業団体向けセミナーの開催

###### (1) 受託業務

###### ①現職参加促進をはじめとする JICA 海外協力隊事業の理解促進セミナー

現況：年4回実施（首都圏2/地方2）のところ、都内2回、神奈川県、山形県、京都府で各1回を実施

課題：プログラム内容、短時間化、オンライン実施等の取り組み

#### (2) 自主事業

現況：全国含めて今年度の実施は1件のみ

課題：全国育てる会の主活動としての定着化

#### 4) イベント等の開催

##### (1) 第47回通常総会シンポジウム

実施名：「地域を創る青年海外協力隊

～『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』から考える」

日時：5月30日（月）16：00～18：00

場所：日本青年館

概要：独立行政法人国立青少年教育振興機構、JICA、当会の三者にて実施した同調査研究をもとに、協力隊経験者という人材の価値や果たすべき役割について考える。

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

共催：独立行政法人国立青少年教育振興機構

後援：独立行政法人国際協力機構

講師等：明石要一（教育学者）、尾木直樹（尾木ママ/教育評論家）

東恵理子（株式会社東美濃ビアワークス代表取締役社長、バングラデシュ OG）

大西かおり（NPO 法人大杉谷自然学校長、フィリピン OG）

長壁総一郎（Licca 代表、東ティモール OB）

長壁早也花（Licca 代表、ラオス OG）

大嶋尚史（独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育センター調査研究アドバイザー）

小林広幸（独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長、タンザニア OB）

参加：209名（オンライン含む）

### 3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

---

#### 1) 応募勸奨や社会還元促進等の推進協力

##### (1) 2022 年度 JICA 海外協力隊春・秋募集の応募勸奨

現況：応募勸奨の協力依頼、資料配布、情報提供等の実施及び調整

課題：JICA 国内機関の主導となり連絡調整の役割が減少

##### (2) 2022 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員社会還元表彰（仮称）の企画協力

現況：広報素材の選定および提供、審査員の推薦

課題：表彰と合わせた報告会等イベントの企画実施

#### 2) 協力隊活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

##### (1) 受託業務

①Web サイト記事「サポーター宣言」記事作成

概要：現職参加や帰国後採用を推進している企業・団体・自治体を JICA 海外協力隊事業のサポーターとして紹介する

件数：契約内で 60 件（2022 年度 40 件／2023 年度 20 件）

実施：以下のとおり

【首都圏】

①認定特定非営利活動法人 Teach for Japan、②富士通株式会社、③矢崎部品株式会社、④日本デイリーネット株式会社、⑤三木ブリー株式会社、⑥株式会社ミヨシグループ、⑦株式会社日水コン、⑧株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング、⑨社会福祉法人調布市社会福祉事業団、⑩埼玉県横瀬町、⑪金沢 QOL 支援センター株式会社、⑫森永酪農販売株式会社、⑬キーコーヒー株式会社、⑭公益財団法人日本数学検定協会、⑮一般社団法人アフリカ開発協会、⑯小笠原村、⑰アイ・シー・ネット株式会社、⑱株式会社トクスイコーポレーション、⑲アムコン株式会社、⑳株式会社キタック、㉑神畑養魚、㉒株式会社イトラスト

【地方】

①北海道庁、②酪農学園大学、③岩手県庁、④加山興業株式会社、⑤フジクリーン工業株式会社、⑥三重県庁、⑦ロート製薬株式会社、⑧株式会社鶴見製作所、⑨辻プラスチック株式会社、⑩公益財団法人太平洋人材交流センター、⑪神戸国際大学、⑫エム・ヴィ・エム商事株式会社、⑬島根県海士町、⑭鳥取県南部町、⑮山口県立大学、⑯喜多機械産業株式会社、⑰愛媛県今治市、⑱大分県別府市、⑲宮崎国際大学、⑳鹿児島国際交流促進センター、㉑一般財団法人たらぎまちづくり推進機構、㉒公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団、㉓金秀バイオ株式会社、㉔株式会社たなべたたら、㉕農事組合法人宮守川上流生産組合、㉖熊本 YMCA

②メーリングリストによる JICA 無料職業紹介登録の推進

実施：毎月末～初 計 11 回

件数：各回約 6,000 件

(2) 自主事業

①メディア情報の発信

現況：社団にて検索のうえ全国育てる会にメーリングリストとして発信（月 2 回）

課題：取得情報のデータベース化

②「JOCV Update」の発信

現況：JICA 青年海外協力隊事務局提供の広報素材を全国育てる会にメーリングリストとして発信（月 1 回）

課題：取得情報のデータベース化

(3) 全国育てる会代表者会議の開催

現況：コロナ禍により実施せず

課題：JICA 海外協力隊事業の平常化と合わせての開催検討

(4) 全国育てる会活動

①香川県青年海外協力隊を育てる会

実施名：30 周年記念誌「香川から世界へ 協力と支援の輪を広げよう」発行の広報協力

概要：育てる会ニュース及びメーリングリストにて広報

## ②協力隊を支援するやまがた地球家族の会

実施名：企業向け理解促進セミナー「JICA をより活用しようセミナー」

共 催：協力隊を支援するやまがた地球家族の会、（一社）協力隊を育てる会

日 時：11月22日（火）14：00～16：00

場 所：霞城セントラルビル 23 階 高度情報会議室

講 師：吉田庸一（NPO 法人山形パプア友好協会会長）

概 要：JICA 草の根技術協力事業、中小企業海外展開・SDGs 支援事業の紹介等

参 加：山形県内の企業団体等 14 法人、計 20 名

## ③愛知県青年海外協力隊を支援する会

実施名：開発教育セミナー「気候変動が極致と社会に与えるインパクト」

氷河氷床－地球を覆う氷に何が起きているのか－

共 催：愛知県青年海外協力隊を支援する会、あいち国際交流はなのき会

日 時：12月17日（土）14：00～16：00

場 所：JICA 中部セミナールーム B

講 師：杉山慎（北海道大学教授、1997-2/ザンビア/理数科教師）

概 要：講演会、主催者役員とのパネルディスカッション

参 加：60 名強

## ④三重県協力隊を育てる会

実施名：三重県協力隊を育てる会 2022 年度臨時総会

日 時：2023 年 3 月 10 日（金）18：30～20：30

場 所：SYNTH ビジネスセンター近鉄四日市

概 要：市来現会長の解任、田中事務局長の残務整理の後、再組織化の確認

参 加：8 名（委任状 4 名）

## 4. JICA 海外協力隊事業を通じた「持続可能な開発目標」（SDGs）への貢献

---

### 1) カレンダーの制作・販売

概 要：帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

テーマ：「ピース」

仕 様：A4 横／フルカラー／14 枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

価 格：1 部 1,100 円（税・送料込）／会員 800 円／3 部以上購入の場合 1 部 600 円）

制 作：4 月より写真募集／7～9 月に写真選考／10 月より販売開始

制作数：8,500 部

現 況：個人購入 503 部／名入れ購入 2,349 部／各県購入 4,425 部／広報配布 500 部  
計 7,777 部（残 723 部）

特 典：購入者には先着順で SDGs バッジをプレゼント（1,891 個）

### 2) カタログギフト「Global Sprout」のリニューアルと販売

概 要：帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

テーマ：「あなたが、わたしが、つくる未来」

仕様：A5 縦ボックス／フルカラー／14～15 枚綴

掲載数：16 ショップ／32 種商品

価格：Sprout コース（4,500 円）／Leaf コース（6,500 円） 計 2 種（税・送料込）

制作：4 月より商品選定／8～10 月に商品撮影・原稿作成／11 月より発売開始

制作数：500 部

現況：個人購入 28 件（ほか旧コース 8 件あり）

販売：オンライン購入可

備考：JICA 海外協力隊社会還元事例のデータベース化の取り組みとしてマッピングを作成し Web 上での公開を計画中

## 【理解促進事業】

---

### 1) 活動報告会の開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会状況に合わせながら活動報告会等を開催した。

#### (1) 大学での講演

日時：11 月 1 日（火）、11 月 8 日（火）

場所：城西大学

参加：小路職員、藤澤職員

内容：経済学部国際ボランティア論での JICA 海外協力隊事業の紹介と活動報告

参加：各回 20 名

### 2) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知することを目的に、書籍等の紹介販売を行う。

#### (1) 「持続する情熱」の販売

現況：JICA 青年海外協力隊事務局による買い取りを交渉中

残数：完全保存版 146 冊／ダイジェスト版 173 冊

#### (2) 「青年海外協力隊の軌跡と展望」の販売

現況：派遣前隊員、留守家族への広報を実施中

残数：61 冊

#### (3) 協力隊 T シャツの販売

現況：募集説明会用 90 枚（公益社団法人青年海外協力協会購入）

残数：74 枚

### 3) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、市民に広く周知した。

#### (1) サマーコンファレンス 2022

主 催：公益社団法人日本青年会議所

実 施：7月16日（土）～17日（日）

場 所：パシフィコ横浜

内 容：JICA 海外協力隊事業及び地域社会にて活動する隊員 OBOG の紹介、資料配布、隊員  
OB 社会還元商品の販売（【BUCKLE COFFEE】石山俊太郎／2014-2／東ティモール  
／コミュニティ開発）

参 加：約 20,000 名（当会ブース立寄り約 70 名）

## (2) 2023 年度京都会議

主 催：公益社団法人日本青年会議所

実 施：2023 年 1 月 19 日（木）～22 日（日）

場 所：国立京都国際会館

内 容：JICA 海外協力隊事業及び地域社会にて活動する隊員 OBOG の紹介、資料配布、カレ  
ンダー販売

参 加：約 20,000 名（当会ブース立寄り約 130 名）

## (3) アフリカ救援節食ディナー

主 催：足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

実 施：2023 年 3 月 18 日（土）

場 所：あしかがフラワーパークプラザ（市民ホール）

内 容：実施プロジェクト報告及び JICA 海外協力隊事業、育てる会活動の広報等

参 加：187 名

## 4) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行った。

### (1) 進路支援

現 況：帰国隊員 2 名を人材登録し、業務提携先の株式会社国際開発ジャーナル社を通じて求人情報を提供。また、帰国隊員 5 名を進路相談カウンセラーに紹介し、JICA 無料職業紹介事業への登録を推奨。

## 【助成事業】

---

### 1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援した。

支援額：1 件につき上限 300,000 円

応募数：3 件

支援数：2 件

募 集：通年

審 査：審査員により随時実施

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	実施状況
1	太田 健司	2021-1 ウガンダ 小学校教育	シングルマザーのための小学校に教科書を～「質の高い教育」実現に向けて	11月4日(金) 完了報告書提出済
2	永易 亜季子	2021-7 ウガンダ 青少年活動	「トイレが子どもたちの未来を守る！ トイレ施設建設プロジェクト in ウガンダ」	安全性が確認できず不採択
3	豊瀬 佳恵	2021-1 マダガスカル コミュニティ開発	道路陥没をなくして、生活改善	3月22日(水) 採択 送金手続き中

## 2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援額：1件につき上限 500,000 円

総 額：3,200,000 円

応募数：19 件（協力活動 6 件／調査研究活動 12 件／指定なし 1 件）

支援数：7 件

募 集：7月1日(金)～8月31日(水)

審 査：10月11日(火)に選考委員会を実施

### <協力活動>

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	活動地域
1	田仲 永和	2017-1 マラウイ 小学校教育	進学をあきらめさせない教育環境を！ ～ズル中等学校の建設～	マラウイ
2	笹瀬 正樹	2014-3 パプアニューギニア 小学校教育	パプアニューギニア KAMISHIBAI プロジェクト	パプア ニューギニア
3	小柳 真裕	2014-1 カンボジア 青少年活動	教材を通じてのカンボジアの幼児教育 サポート	カンボジア
4	尾上 香織	2017-1 トンガ 音楽	在日トンガ人実態調査	日本(熊本県) トンガ

<調査・研究>

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	活動地域
5	岡本 芙美	2016-2 ウガンダ 薬剤師	ウガンダ東部地区プライマリケア施設における必須医薬品と医療機器の入手可能性	ウガンダ
6	原口 望友紀	2017-2 タンザニア 日本語教育	タンザニア連合共和国における ODA による日本語教育の省察と日本語・日本語教育の役割	タンザニア
7	三浦 広大	2019-2/2021-8 ザンビア/ウガンダ 理科教育	ザンビアにおける生徒の科学プロセススキルズの測定に関する研究	ザンビア

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援額：状況に応じて決定

給付：2023年4月上旬を予定

対象：以下の4事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

**【広報事業】**

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、全国の活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数：約 5,000 部/毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕様：モノクロ/タブロイド版/4 ページ

構成：1 面～最新トピックス、有識者による時評

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4 面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

備考：日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会とのコラボ企画が連載 50 回（2023 年 1 月号）を迎えたため特集記事を掲載。

2) Web や SNS による情報提供

市民をはじめ隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員等、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信した。

(1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供

内容：イベント情報や組織概要、各種支援情報等

媒体：ホームページ

掲載：随時（月1回更新）

件数：42件

(2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供

内容：リニューアルした Global Sprout に関する情報提供（2022年11月1日より開始）

媒体：Facebook/Instagram ※10月より導入/LinkedIn ※12月より導入

掲載：週に1~2回

投稿数：Facebook 31回/Instagram 30回/LinkedIn 27回

閲覧数：Facebook 平均280回/Instagram 平均100回/LinkedIn 平均35回

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中隊員や帰国隊員に育てる会活動を広く周知し、人的ネットワークの充実化と社会還元の推進を図るため、以下の情報等を発信した。

(1) カレンダー写真の募集

(2) 就職・進学情報の告知

(3) カレンダー、「Global Sprout」販売開始の告知

(4) JICA 等からの情報提供

実施：毎月末~初 計8回

件数：各回約6,000件

## 【受託事業】

---

1) 2021-2024年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元結びつけるべく、業務を遂行した。

委託元：独立行政法人国際協力機構

業務：JICA 海外協力隊実践ガイド（年10号）、OBOG向け（年1号）、応募者向けガイド（年1号）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約：2021年7月1日（木）~2024年9月30日（月）

専従：3名

2) 2021-2023年度 JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務

帰国後の進路支援を円滑に実施できるよう、各種データの情報管理や進路支援制度の運用を効率的に推進するとともに、カウンセリングを通じて帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、現職参加や帰国後採用を推進することでボランティアに対する社会的評価の向上に繋げるべく、業務を遂行した。

委託元：独立行政法人国際協力機構

業務：各種証明書発行やデータ整備、奨学制度等の事務手続き、進路相談カウンセリング業務、無料職業紹介業務、広報記事作成、理解促進セミナーの実施等

契 約 : 2021 年 10 月 1 日 (金) ~2023 年 8 月 31 日 (木)

専 従 : 5 名 (ほか業務委託 5 名)

### 3) 浦安市国際センター事業

市民の国際交流及び国際協力に関する情報提供ならびに市民の相互交流を図ることを目的とし、外国人市民への情報提供、国際交流・協力に関する情報発信、日本人市民と外国人市民の相互交流や交換場所の提供、更に相互交流の場となる拠点として、市民の幅広いネットワークづくりを支援した。

委託元 : 浦安市

共同体 : 公益社団法人青年海外協力協会

業 務 : 浦安市国際センターにおける多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等の運営補佐  
(指定管理業務)

契 約 : 2022 年 4 月 1 日 (金) ~2026 年 3 月 31 日 (火)

専 従 : 1 名

### 4) 「全世界 2025 年大阪・関西万博に向けた途上国の参加促進に係る情報収集・確認調査」に企業共同体を結成し、入札会に参加。

大阪・関西万博に出店する途上国を対象に自国の魅力と日本の ODA の貢献を効果的に発信、とりわけ途上国の SDG s 推進に協力隊事業が果たした役割を広く世界に周知する。

委託元 : JICA

共同体 : 株式会社シー・ディー・シー・インターナショナル (代表者)

パシフィックコンサルタンツ株式会社 (構成員)

一般社団法人協力隊を育てる会 (構成員)

結 果 : 失注

## 【総務活動】

---

### 1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催した。

#### (1) 第 47 回通常総会

開催日 : 5 月 30 日 (月) 13 : 30 ~

場 所 : 日本青年館

#### 【プログラム】

第 1 部 : 通常総会 (13 : 30 ~ 15 : 30)

第 2 部 : シンポジウム「地域を創る青年海外協力隊」 (16 : 00 ~ 18 : 00)

第 3 部 : 交流会 (18 : 30 ~ 20 : 00)

#### (2) 理事会

年 3 回の開催 (5 月、12 月、2023 年 3 月)

第1回	第2回	第3回	第4回
5月10日(火) 於 日本青年館 ブルー	5月30日(火) 於 日本青年館 オレンジ	12月13日(火) 於 連合会館 205会議室	3月14日(火) 於 連合会館 402会議室

(3) 常任理事会

5月期	11月期	1月期
5月6日(金) 於 連合会館 202 会議室	11月15日(火) 於 育てる会事務局会議室	1月26日(木) 於 育てる会事務局会議室

2) 各種交流会等の開催及び参加

(1) 第47回通常総会シンポジウム・交流会

日 時：5月30日(月) 18:30~20:00

場 所：日本青年館 9階宴会場

参 加：全国育てる会役員等約45名

(2) 第2回未来をつくる協力隊連絡会

日 時：11月7日(月) 15:00~17:00

場 所：JICA 竹橋

参 加：山本会長、大石事務局長

(3) 2022年度 JICA 慰霊式

日 時：11月17日(木) 16:00~16:20

場 所：JICA 市ヶ谷

参 加：大石事務局長

(4) 青遺海の会元会長宅訪問

日 時：12月14日(水) 13:30~14:30

場 所：故相磯照男氏ご自宅

参 加：橘事務局長(JICA 青年海外協力隊事務局)、大石事務局長

3) 会員現況

会員種別		会員数
社団法人	個人	255 (入会3)
	団体	80 (入会0)
	法人	23 (入会0)
	計	358 会員
全国育てる会	個人/団体/法人	2,038 会員
	合計	2,396 会員

#### 4) 受章等

##### (1) 令和4年春の叙勲

###### 【旭日中綬章】

・佐竹力総氏

(京都府 JICA ボランティア応援団顧問/株式会社美濃吉第十代目当主)

###### 【旭日双光章】

・臼井佳子氏

(青年海外協力隊とちぎ応援団理事/NPO 法人宇都宮市国際交流協会理事)

###### 【瑞宝小綬章】

・佐藤均氏

(広島県青年海外協力隊を育てる会事務局長/一般社団法人広島県環境保健協会理事長)

##### (2) 令和4年秋の叙勲

###### 【旭日中綬章】

・関口修氏

(福島県青年海外協力隊を支援する会顧問/学校法人郡山開成学園理事長・学長)

##### (3) 表彰

###### 【令和4年度鹿児島県民表彰(社会活動)】

・弓場秋信氏

(鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長/弓場貿易株式会社代表取締役社長)

###### 【令和4年度新潟県知事表彰(一般功労者/国際交流)】

・羽賀友信氏

(にいがた青年海外協力隊を育てる会会長/長岡市国際交流センター長)

・星野伊佐夫氏

(にいがた青年海外協力隊を育てる会顧問/新潟県議会議員)

#### 5) 訃報

・本田良一氏 7月22日(金)/享年82歳

(熊本県協力隊を育てる会副会長/元参議院議員)

・奈良秀則氏 9月28日(水)/享年64歳

(地球色の日焼け・おあもり応援団団長/青森商工会議所副会頭)

・小宮英夫氏 11月24日(木)/享年76歳

(一般社団法人協力隊を育てる会元常任理事・第11代事務局長)

#### 6) 派遣隊員への訓練所ガイダンス

二本松・駒ヶ根両訓練所の隊員を対象に以下のとおり実施

隊次	日時	概要
2022年度1次隊	5月12日(木) 17:00~17:30	オンラインによる 育てる会活動の説明及び個人情報の収集
2022年度2次隊	8月5日(金)	

	17:00~17:40	
2022年度3次隊	11月4日(金) 17:10~18:00	
2022年度4次隊	2023年1月27日(金) 17:10~18:00	

7) 新規派遣隊員留守家族への入会勧奨（社団分）

時 期：2022年12月  
件 数：82件

8) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期：随時  
場 所：オンライン  
概 要：育てる会活動の説明ならびに個人情報収集

9) 人事

(1) 全国育てる会会長

- ・群馬県青年海外協力隊を育てる会  
前) 町田錦一郎氏 マチダコーポレーション株式会社代表取締役社長  
新) 都丸和俊氏 株式会社オオタヤ代表取締役会長

(2) 全国育てる会事務局長

- ・協力隊を支援するやまがた地球家族の会  
前) 富樫透氏 庄内町長  
新) 田中宏氏 鶴岡市議会議員

(3) 社団事務局職員

- ・復職  
藤澤礼香（4月1日付 産育休→事業部チーフ/事務局勤務 正職員）
- ・採用  
小路克雄（4月1日付 事業部/進路相談カウンセラー 嘱託職員）  
折登妙子（4月21日付 浦安国際センター 嘱託職員）  
永淵三恵（6月20日付 事業部/事務局勤務 嘱託職員）  
矢野洋子（6月28日付 クロスロード編集部 嘱託職員）  
飯淵一樹（7月1日付 クロスロード編集部 嘱託職員）  
鈴木 篤（8月1日付 浦安国際センター 嘱託職員）  
林 詩織（8月30日付 クロスロード編集部 アルバイト）  
阿部純一（10月4日付 クロスロード編集部 嘱託職員）  
馬場はるか（2023年1月1日付 事業部/事務局勤務 嘱託職員）
- ・退職

坂部修一（4月8日付 事業部／進路相談カウンセラー 嘱託職員）  
丸山奈菜（4月15日付 事業部／JICA市ヶ谷勤務）  
小原麻子（6月30日付 クロスロード編集部 嘱託職員）  
折登妙子（7月31日付 浦安国際センター 嘱託職員）  
矢野洋子（8月6日付 クロスロード編集部 嘱託職員）  
吉田晴乃（9月16日付 事業部／JICA市ヶ谷勤務）  
内島弘太（2023年3月31日付 協力隊事務局勤務 正職員）

・異動

吉田晴乃（4月15日付 事業部／事務局勤務→事業部／JICA市ヶ谷勤務）  
永淵三恵（9月1日付 事業部／事務局勤務→事業部／JICA市ヶ谷勤務）

以上

【2022年度事業報告附属明細書について】

2022年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。



**2023 年度事業計画**  
**2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで**

## 2023 年度事業方針

### 【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

### 【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

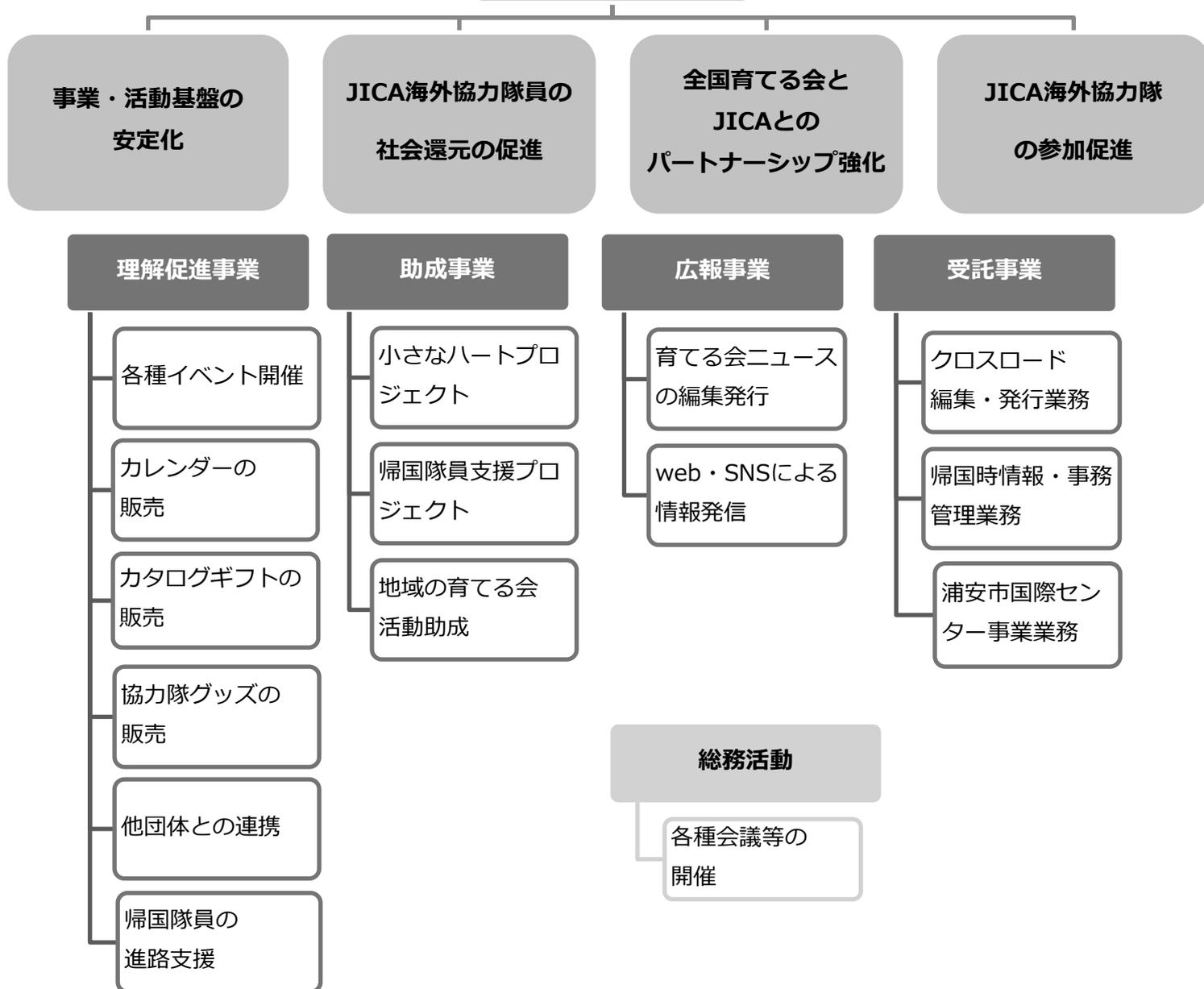
### 【重点活動】

1. 事業・活動基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊員の社会還元の促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊の参加促進（コロナ禍からの回復）

## 協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

## 重点活動



# 2023 年度事業計画（案）

## 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

### 【重点事業】

#### 1. 事業・活動基盤の安定化

---

##### 1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

実施：受託業務の確実な受注

概要：「JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務」の継続受注  
(現契約は 2023 年 8 月 31 日まで／契約延長決定)

##### 2) 新規事業の企画と受託業務の応札

実施：通年

概要：育てる会の強みを生かした事業の企画とプロポーザル参加

##### 3) 全国育てる会活動予算の確保

実施：通年

概要：活動予算の確保検討及び交渉

#### 2. JICA 海外協力隊員の社会還元促進

---

##### 1) 全国ネットワークによる協力隊活動ならびに社会還元活動への支援

実施：通年

概要：イベント開催等を通じた活動広報

##### 2) イベント等の開催

###### (1) 第 48 回通常総会シンポジウムの開催

演題：「協力隊経験を社会に還元する」

日時：2023 年 5 月 26 日（金）16：00～18：00

場所：日本青年館（イエロー）

概要：第 1 回 JICA 帰国隊員社会還元表彰受賞者の活動事例を振り返り、各地域での社会還元活動を促進する。

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

後援：独立行政法人国際協力機構

講師等：パネリスト 青年海外協力隊事務局  
帰国隊員社会還元実践者（3 名）

### 3) カタログギフト「Global Sprout」の広報と販売

昨年度、完全リニューアルをしたカタログギフトの積極的な広報と販売促進

ブランド：「Global Sprout（グローバル・スプラウト）」

概要：帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等を掲載したカタログギフトの販売促進を通じて、地域社会の活性化を進めている隊員の活動を支援する。

### 4) 日本も元気にする青年海外協力隊 OBOG 会と連携した事業企画・運営

#### (1)OBOG のマッピング化に向けた取り組み

概要：メタバース（仮想空間）やアプリを活用させた全国 OBOG マップや協力隊モールの制作に向けた情報収集や資金調達を行う。協力隊モールは、協力隊 OBOG ショップを集結させた百貨店を想定（B1 食品売り場、1F コスメ、2F ファッション、上階レストラン街、催し物会場等）。AI・チャットボットを活用させた来客対応ほか、現役隊員や OBOG に役立つ協力隊知見集の制作も検討する。

#### (2)OBOG を訪ねる旅実施に向けた取り組み

概要：各 OBOG の強みと地域の特色を生かしたオンライン（現スピンオフ会）とオフライン（リアル）実施に向けた企画立案・お試しツアーを検討する。

当会婚活事業や SDG s、企業団体用視察等、テーマ性とターゲットを設定する。

#### (3)協力隊 24 時間ライブ実施に向けた取り組み

概要：数日間に分けた計 24 時間オンラインライブを検討する。

協力隊 OBOG のビフォー（協力隊活動）アフター（OBOG ショップ等）、各県育てる会等が登壇し、各 OBOG や育てる会の取り組みを発信することで、OBOG の社会還元促進や日本社会における協力隊事業の理解促進につなげる。(1)や(2)のネットワーク化や資金調達等にもつなげる。

## 3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

---

### 1) 全国育てる会の総会等の積極的な参加と情報共有

実施：通年

### 2) 応募勸奨や社会還元促進、人材バンク機能の推進協力

実施：通年

### 3) 協力隊活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

実施：通年

### 4) 全国育てる会代表者会議の開催

実 施 : 年度内の開催を検討

#### 4. JICA 海外協力隊参加の促進

---

##### 1) カレンダーの制作・販売

概 要 : 帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) ／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 8,000 部 ※予定

制 作 : 5 月～8 月

販 売 : 9 月下旬 ※予定

普 及 : オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う。

##### 2) 『クロスロード』の積極的な活用

概 要 : 応募勧奨号 (2 月 1 日発行号) を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高める。

全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する。

実 施 : 通年

#### 【理解促進事業】

---

##### 1) 活動報告会の開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会情勢に合わせながら活動報告会等を開催する。

###### (1) 新春の集い

実 施 : 2024 年 1 月 (予定)

##### 2) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業への理解を

###### (1) 「持続する情熱」 (ダイジェスト版) の販売

実 施 : 通年

対 象 : 隊員参加希望者、隊員家族、帰国隊員の採用に関心をもつ企業・団体・自治体

###### (2) 協力隊 T シャツ、JOCV バッジの販売

実 施 : 通年

概 要 : 隊員参加希望者、派遣予定者、帰国隊員、隊員家族等

##### 3) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

###### (1) 協力隊まつり 2023

主 催 : 協力隊まつり実行委員会

実 施 : 4月22日(土)

場 所 : JICA市ヶ谷

(2) グローバルフェスタ 2023

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会

実 施 : 9月末~10月初旬

場 所 : 未定

(3) アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

実 施 : 2024年2~3月

場 所 : 足利市民プラザ

4) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年

概 要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

## 【助成事業】

---

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する。

支援金額 : 1件につき上限 300,000 円

支援件数 : 未定

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額 : 1件につき上限 500,000 円

支援総額 : 2,700,000 円

募集期間 : 7月1日(土) ~ 8月31日(木)

審査選考 : 選考委員会にて 10月頃実施

### 3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：状況に応じて決定

給付時期：状況に応じて決定

対象事業：以下の4事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

## 【広報事業】

---

### 1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約5,000部/毎月（赴任中の協力隊員にはPDF配信）

仕様：モノクロ/タブロイド版/4ページ

構成：1面～最新トピックス、有識者による時評

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

### 2) WebやSNSによる情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、WebやSNSを活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

### 3) メールングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知

- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

#### 4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく。

協力隊設立 60 周年（2025 年）を 2 年後に控え、収集した資料の整理を進める。

### 【受託事業】

---

#### 1) 2021-2024 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元結びつけるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容 : JICA 海外協力隊実践ガイド（年 10 号）、OBOG 向け（年 1 号）、応募者向けガイド（年 1 号）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間 : 2021 年 7 月 1 日（木）～2024 年 9 月 30 日（月）

専従職員 : 3 名

#### 2) 2021-2023 年度 JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務

帰国後の進路支援を円滑に実施できるよう、各種データの情報管理や進路支援制度の運用を効率的に推進するとともに、カウンセリングを通じて帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、現職参加や帰国後採用を推進することでボランティアに対する社会的評価の向上に繋げるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局人材育成課

業務内容 : 各種証明書発行やデータ整備、奨学制度等の事務手続き、進路相談カウンセリング業務、無料職業紹介業務、広報記事作成、理解促進セミナーの実施等

契約期間 : 2021 年 10 月 1 日（金）～2023 年 8 月 31 日（木）（契約延長決定）

専従職員 : 5 名（ほか業務委託 5 名）

契約延長終了後の受託事業についても確実に受注できるよう準備を進める。

公示 : 未定

#### 3) 浦安市国際センター事業

上記センターの指定管理業務を共同企業体と実施する。

委託元 : 浦安市

共同企業 : 公益社団法人青年海外協力協会

業務内容 : 国際センターの運営補佐 (多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等)

契約期間 : 2022年4月より4年間

専従職員 : 1名

## 【総務活動】

---

### 1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

#### (1) 第48回通常総会

開催日 : 5月26日(金) 14:00~15:30

場 所 : 日本青年館(ブルー)

##### 【プログラム】

第1部 通常総会(14:00~15:30)

第2部 シンポジウム「協力隊経験を社会に還元する」(16:00~18:00)

第3部 交流会(18:30~20:00)

#### (2) 理事会

年3回の開催(5月、12月、2024年3月)

#### (3) 常任理事会

原則として四半期ごとに開催

#### (4) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

### 2) 各種交流会の開催

#### (1) 「新春の集い」

日 時 : 2024年1月

場 所 : 都内

#### (2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 随時

場 所 : 都内

### 3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 随時

場 所 : オンライン

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 留守家族への入会勧奨

時 期 : 隊員赴任直後

方 法 : 郵送

5) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 随時

場 所 : オンライン

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

3) 一般社団法人協力隊を育てる会設立 50 周年へ向けた準備

1976 (昭和 51) 年 3 月 設立総会開催 (日本青年館)

以上

## 2023年度収支予算

2023年4月1日から2024年3月31日(決算) まで

(単位:円)

科 目	2022予算 (A)	2023予算 (B)	(B)-(A)	備考
<b>事業活動収入</b>				
1 基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金
2 入会金収入	60,000	60,000	0	個人、法人、団体
3 会費収入	4,000,000	4,000,000	0	個人、法人、団体
4 研修会費収入	700,000	900,000	200,000	総会交流会、新春の集い、OB会連携
5 広告料収入	2,500,000	3,560,000	1,060,000	育てる会ニュース
6 手数料収入	4,489,000	4,000,000	△ 489,000	各県クロス発送手数料
7 カレンダー販売収入	4,400,000	3,800,000	△ 600,000	8千部
8 帰国隊員等支援受託収入	52,000,000	52,000,000	0	カウンセラー、進路支援、サポーター宣言WEB
9 クロス編集業務等受託収入	57,188,000	57,188,000	0	年12冊
11 その他受託収入	5,912,000	4,712,000	△ 1,200,000	浦安、その他(新規)
12 助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13 寄付金収入	50,000	650,000	600,000	ハート、一般寄付
14 グローバルスプラウト	50,000	500,000	450,000	
15 雑収入	1,001,000	0	△ 1,001,000	
<b>経常収益合計</b>	<b>135,351,000</b>	<b>134,371,000</b>	<b>△ 980,000</b>	
<b>事業活動支出</b>				
16 給与手当	48,329,000	49,364,000	1,035,000	事務局6名、支援3名、クロス4名、浦安1名
17 退職掛金	1,380,000	1,080,000	△ 300,000	正職員3名
18 福利厚生費	8,108,000	7,381,000	△ 727,000	
19 旅費交通費	2,700,000	2,630,000	△ 70,000	各県イベント参加、クロス出張、職員スィカ
20 通信運搬費	5,956,000	6,014,000	58,000	クロス発送、ギガポット、Zoom
21 会議費	200,000	200,000	0	
22 修繕費	1,028,000	950,000	△ 78,000	コピーカウント、PCメンテナンス、ネットワーク保守
23 印刷製本費	11,709,000	10,866,000	△ 843,000	クロス、カレンダー、ニュース
24 賃借料	5,569,000	5,569,000	0	家賃、OA機器リース、書類保管
25 光熱水費	510,000	510,000	0	電気、水道
26 保険料	60,000	60,000	0	火災保険、団体福祉
27 諸謝金	4,478,000	4,280,000	△ 198,000	クロス、サポーター宣言
28 消耗品費	200,000	300,000	100,000	
29 租税公課	4,754,000	4,700,000	△ 54,000	消費税、人材紹介登録、登記
30 減価償却費	229,000	188,000	△ 41,000	建物付属施設
31 仕入高	486,000	300,000	△ 186,000	記念誌
32 支払負担金	2,033,000	2,535,000	502,000	社労士、税理士、会費、プライバシーマーク
33 支払助成金	6,100,000	6,640,000	540,000	三菱、各県助成、ハート
34 委託費	26,289,000	26,512,000	223,000	カウンセラー、ライター
35 雑費	4,233,000	3,792,000	△ 441,000	総会交流会、新春の集い
36 予備費	1,000,000	500,000	△ 500,000	
<b>経常費用合計</b>	<b>135,351,000</b>	<b>134,371,000</b>	<b>△ 980,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

第1号議案：2022年度決算承認の件  
監事監査報告書

## 決 算 報 告 書

(第10期)

自 2022年4月 1日  
至 2023年3月31日

# 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	288	213	75
基本財産受取利息	288	213	75
受取入金会金	3,000	11,000	△8,000
受取入金会費	3,000	11,000	△8,000
正会員受取会費	4,324,900	4,179,400	145,500
研修会受取会費	4,097,400	4,179,400	△82,000
事業収益	227,500	0	227,500
広告料収入	123,497,207	116,937,338	6,559,869
手数料収入	3,815,900	2,424,400	1,391,500
カレンダー等販売収入	3,728,540	4,164,488	△435,948
帰国隊員等支援受託収入	3,724,540	4,772,800	△1,048,260
クロス編集業務受託収入	50,731,263	51,100,709	△369,446
GLOBAL SPROUT	57,052,037	53,789,982	3,262,055
その他受託収入	200,040	53,559	146,481
受取補助金等	4,244,887	631,400	3,613,487
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	277,995	122,620	155,375
受取寄付金	277,995	122,620	155,375
雑収益	277,995	122,620	155,375
受取利息	531,979	2,301,286	△1,769,307
受取利息	79	106	△27
受取利息	531,900	2,301,180	△1,769,280
經常費用	131,635,369	126,551,857	5,083,512
事業費用	112,468,316	105,630,337	6,837,979
給料手当当金	38,373,750	37,555,761	817,989
退職共済掛金	1,104,000	1,085,000	19,000
福利厚生費	5,680,789	5,439,426	241,363
旅費交通費	2,777,593	1,776,230	1,001,363
通信搬費	5,695,174	5,784,187	△89,013
消耗品費	16,610	18,436	△1,826
修繕費	1,144,692	854,490	290,202
印刷製本費	11,188,823	10,828,565	360,258
仕入高料	45,130	349,717	△304,587
光熱水料	256,264	261,310	△5,046
賃借料	2,621,475	2,455,504	165,971
保険料	48,000	51,840	△3,840
諸謝金	2,794,250	7,092,560	△4,298,310
租税公課	1,400	75,133	△73,733
支払助成金	6,665,144	5,839,220	825,924
委託費	29,851,065	22,526,800	7,324,265
雑費	4,204,157	3,636,158	567,999
管理費	20,758,687	20,041,884	716,803
給料手当当金	6,705,094	5,786,085	919,009
退職共済掛金	276,000	275,000	1,000
福利厚生費	992,614	838,033	154,581
会議費	120,300	127,260	△6,960
旅費交通費	175,754	198,576	△22,822
通信搬費	357,484	427,948	△70,464
減価償却費	229,680	219,835	9,845
消耗品費	398,149	209,351	188,798

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
修繕費	141,695	322,469	△180,774
印刷製本費	88,327	89,485	△1,158
光熱水料	256,264	261,311	△5,047
賃借料	2,958,045	3,028,646	△70,601
保険料	17,476	17,476	0
諸謝金	6,000	0	6,000
租税公課	5,077,300	5,155,000	△77,700
支払負担金	2,004,806	2,441,613	△436,807
雑費	953,699	643,796	309,903
経常費用計	133,227,003	125,672,221	7,554,782
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,591,634	879,636	△2,471,270
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,591,634	879,636	△2,471,270
経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△1,591,634	879,636	△2,471,270
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△1,661,634	809,636	△2,471,270
一般正味財産期首残高	41,139,585	40,329,949	809,636
一般正味財産期末残高	39,477,951	41,139,585	△1,661,634
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	39,477,951	41,139,585	△1,661,634

## 貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
流動資産			
現金預金	5,141,578	5,197,970	△56,392
現普通預金	31,356	46,448	△15,092
未収会費	5,110,222	5,151,522	△41,300
未前収金	100,000	90,000	10,000
未前貯蔵品	16,505,428	18,380,488	△1,875,060
商立預金	1,572,084	578,819	993,265
立替預金	29,435	51,083	△21,648
預け金	962,617	929,999	32,618
流動資産合計	384,503	356,988	27,515
	2,500	2,500	0
流動資産合計	24,698,145	25,587,847	△889,702
固定資産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
その他固定資産			
建物附属設備	1,783,888	1,991,568	△207,680
什器備品	45,834	67,834	△22,000
長期前払費用	1,770,558	1,770,558	0
奨学貸付金	322,932	178,106	144,826
その他固定資産合計	800,000	1,250,000	△450,000
固定資産合計	4,723,212	5,258,066	△534,854
固定資産合計	24,723,212	25,258,066	△534,854
資産合計	49,421,357	50,845,913	△1,424,556
負債の部			
流動負債			
未前預り金	4,509,816	4,547,149	△37,333
未払消費税等	492,400	617,600	△125,200
未払法人税等	2,395,290	1,681,679	713,611
流動負債合計	2,475,900	2,789,900	△314,000
	70,000	70,000	0
流動負債合計	9,943,406	9,706,328	237,078
負債合計	9,943,406	9,706,328	237,078
正味財産の部			
一般正味財産	39,477,951	41,139,585	△1,661,634
正味財産合計	39,477,951	41,139,585	△1,661,634
負債及び正味財産合計	49,421,357	50,845,913	△1,424,556

## 財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年 4月11日 最終改正 令和 2年 5月15日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

#### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
合 計	20,000,000	0	0	20,000,000

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,595,159	811,271	1,783,888
什器備品	110,000	64,166	45,834
合 計	2,705,159	875,437	1,829,722

### 4. その他

#### (1) 表示方法の変更

なし

## 附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000

2023年4月27日

## 監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会  
代表理事 山本 保博 殿

監事 福 龍 健   
監事 中 村 義 人 

私たち監事は、第10期事業年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業報告、  
計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、その他理事の  
職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、  
会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から  
職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示し  
ているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実  
は認められません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点に  
おいて適正に表示しているものと認めます。

以上

